



## ミラノ コルティナ オリンピックから

校長 杉本 仁

日本時間の2月23日の早朝、ミラノ コルティナオリンピックの閉会式が行われ、19日間の熱戦が幕を下ろしました。感動の涙、悔しさの涙など、たくさんのドラマがあった19日間でした。

私がこのオリンピックで感じたことを少し書かせていただきたいと思います。このオリンピックで私が強く感じたのは、『チーム』です。

そもそも、冬季オリンピックでチームとして戦う競技は、アイスホッケーとカーリングのみで、他の競技は基本的に個人競技という印象です。しかし、日本がメダルを獲得した種目で確認しても以下の通り、『団体』という言葉が出てきます。

スキージャンプ	：混合団体	銅
スピードスケート	：女子団体追い抜き	銅
フィギアスケート	：団体	銀

古くは、1992年のアルベールビルオリンピック、ノルディック複合・団体で、日本チームのアンカーとして、荻原健司さんが、日の丸を手に1位でゴールした瞬間に日本中が感動したことなどを思い出しますが（これを読んでいる、保護者の皆さんはまだ小学生以下だった方もいらっしゃると思います…）、いつの間にか各競技で、どんどん「団体」が増えているのです。ちなみに、今大会では、以下の団体種目が新設されています。（日本が出ていない種目もあります）

アルペンスキー	：チーム複合
スケルトン	：混合団体
スキージャンプ	：男子スーパーチーム
※	（4人の団体から2名のチームに変更）
山岳スキー	：混合リレー

日本は、陸上競技の100m×4リレーを得意としていたり、駅伝競技が国内で大きな盛り上がりを見せたりするなど、個人の力以上に、チームで支え合い、励まし合い、工夫し合う「個人よりもチーム」という考え方が強い国だと思います。冬季種目でも、スピードスケートの団体追い抜き（チームパシュート）は、他の国から、「芸術」と称されていましたね。

今大会でも、「チームで支え合い、励まし合う」様子がたくさん報道されていましたし、個人種目であっても、同じ競技に出ている選手同士が、「励まし合い、称え合う」素晴らしい姿がみられました。

そして最後に私の個人的思いですが、「スキーとイチゴの町」比布町から未来のオリンピックが誕生することを期待しています。

## 3学期はまとめの時期です

2月も終わりとなり、3月に入ります。3学期は、1年のまとめの時期として非常に重要な期間ですが、同時に次の1年に向けての準備をする時期でもあります。子どもたちには、1年のまとめをしっかりとて、次の学年に備えてほしいと願っています。（特に9年生は、中央学校から巣立ち、新しい環境で頑張ることとなりますね。）

学校としても、現在学校評価等の結果を受け、次年度の方向性を模索しており、26日に行った「学校運営協議会」では、その方向性を説明させていただきました。その一部を紹介します。

「つなげる・つながる比布の子ども」という重点目標は、教職員だけでなく、児童生徒にも浸透し良い効果を生んでいる。しかし、学習面での課題である、「目的や意図に応じ、根拠を明確にしなが、順序だててわかりやすく書いたり説明したりすることが苦手である。」という部分は改善の傾向はあるが、更に向上を目指さなければならない。また、家庭学習の取組状況も向上の必要がある。従って、現在行っている授業改善・改革の取組を次年度も継続する。

また、次年度は義務教育学校開校5年目として、9年間を見通し、よりよい人間関係を構築するために必要なスキルの獲得や、比布から巣立った際に立ち立できる人間性の育成を目指して、新たなことに挑戦していきたいと考えている。

何より、私たち教職員のチーム性を高めるとともに、児童生徒も含めた『チーム 比布中央』、比布町全体で子どもたちを見守り、成長を喜ぶことができる『チーム 比布町』の構築を目指し、努力していきたいと思っています。



## 雪だるまコンクールに参加

あそか苑さんが主催していた「雪だるまコンクール」に前・後期課程の支援学級が協力して参加しました。（ご来校の際にご覧になった方もいらっしゃるかと存じます。）

作りあげたのは「ちいかわ」「スノーベリー」「ミッフィー」「マリオ」の4体です。職員が大まかに切り出した雪のブロックを、力を合わせて削っていきます。立体にすることは思いのほか難しかったようで、数日に分けての取組となりました。あそか苑さんからは「比布の未来を育む会」賞を頂きました。今後も様々な場面で、前・後期のつながりを深めていきたいと考えています。



## 下田小学校との交流

17日（火）に滋賀県湖南市立下田小学校の6年生と本校の6年生がリモートで交流をしました。湖南市は比布町の母村の一つです。

これまで、互いの学校が総合的な学習の時間に自分の町について調べ、まとめてきました。それを基に作成した「学校紹介」のプレゼン資料を交換し、互いの学校の様子について理解を深めてきました。

今回は画面越しではありましたが、初めて互いの顔を見たり声を聞いたりする中でクイズをしたり質問をし合ったりしました。

終始和やかで楽しい雰囲気の中で交流は進みました。いつか、互いの町を訪ね合える時がくと素敵ですね。



## ご参観、ご来校ありがとうございました。

今年度最後の参観日が2月25日(水)に行われました。4・5校時の授業公開を行い、多くの保護者の皆さんに参観いただきました。また、懇談を実施し1年間の子どもたちの成長の様子をお伝えしました。部活動の地域展開についての説明にもご参加いただきありがとうございました。この後、3月2日(月)にPTAの合同役員会を開催します。次年度活動への話し合いになります。1年間役員をお引き受けいただいた皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 3年生が考えた給食です。

総合的な学習の時間において「食事と健康」に関する学びを深めてきた3年生。これまで「給食ができるまで」「栄養のバランス」「地産地消」「献立を作ってみよう」など、時間をかけて学んできました。2月16日(月)～20日(金)は実際に考えたメニューが提供されました。

栄養バランスはもちろんですが、今野農園さんから寄付頂いた「あいがも米」を取り入れたり、うどんの具には卵や千本ネギを取り入れたりなど地産地消の視点も大切にしています。皆でおいしくいただきました！



考えた献立を各クラスで紹介しました。

## 除雪ボランティア

9年生の総合的な学習の時間の「比布町活性化プロジェクト」で提案した除雪ボランティアを受けて、生徒会が中心となって呼びかけを行い、3回にわたって除雪ボランティアを行いました。参加した生徒は、良い汗をかきながら地域のために貢献していました。



## 比布中央学校での写真撮影とデータの取り扱いについて

昨年学校現場において盗撮を行い、それを SNS などでも共有するという許されざる事態が発生しました。この事態を受けて本町の教育委員会においてもセキュリティポリシーを改訂しましたのでお知らせいたします。

### ①私物端末・スマートフォンの教室への持ち込みや撮影は原則禁止

※児童生徒の安全確保の観点から連絡が必要な場合、教育活動で使用せざるを得ない場合、職員の個別の事情を考慮し校長が必要と認めた場合については事前に校長・教育長に申請し、許可された場合は持ち込むことができる。

### ②児童生徒の写真や動画の撮影について

- ・私物端末・スマートフォン等を用いて児童生徒を撮影することは禁止する。
- ・撮影については学校が所有・管理する端末を使う。職員所有の機材を使用する場合は事前に「私物撮影機材申請書」を教育委員会に提出し許可を受ける。
- ・撮影に際しては教育目的であること。
- ・児童生徒の写真または動画データの管理は、セキュリティテストに合格した上で教育長に取り扱い申請をし、許可された職員のみができる。

○以上の観点から「マチコミ」を通して行事等の写真を配信することは難しくなります。代わりに町が発信している SNS の情報等をマチコミでご案内いたしますのでご了承ください。



- 2日（月） 交通安全街頭指導（前期）
- 4日（水） 公立高校学力検査日
- 5日（木） 公立高校入試面接日
- 6日（金） 生徒会役員選挙
- 11日（水） 卒業式総練習  
卒業式前日準備  
9年生同窓会入会式
- 12日（木） 第4回卒業証書授与式
- 13日（金） 職員会議 合同認証式

- 16日（月） 大掃除週間（～25日）
- 17日（火） たてわり班解散式  
公立高校合格発表日
- 20日（金） 春分の日
- 23日（月） 貯金日（前期）
- 24日（火） 貯金日（後期）
- 25日（水） 修了式、離任式

※年度末・年度始休業

令和8年3月26日（木）～4月6日（月）

※令和8年度始業式、入学式・進級式

令和8年4月7日（火）